

「どやの」とは、福井弁で「どうですか?」「いかがですか?」という意味で、ボランティア活動などちょっと始めてみませんか?という思いが込められています。

大切なのは自分から始めること 人の身になって感じること…

先日、織田の剣神社前にある手作り惣菜のお店「じんべえ」さんにお邪魔し、代表の林多恵子さんにお話を伺いました。くちコミでお客さんが増え続けているこのお店に、市民活動のヒントを感じることが出来ました。

林さんが東京での化粧品の仕事をやめて織田に戻ってきたのは、両親が心配だったからだそうです。都会に慣れた目には故郷の町は寂れて見えました。呉服屋を営んでいた家は、商工会に空き店舗対策として貸し出されていましたが、夕方や休日になると店番はいなくなり、観光客が来ても休める場所がありません。ゆっくり出来る場所もなかったのです。

1780年の歴史を持つ剣神社は魅力的です。それを活かしての街づくりを町に訴えましたが、予算などでなかなか実現しません。そこで、それならと林さんは産業支援センターのセミナーなどを受けて、自分で始めることにしたのです。築100年の家を活かした店舗をつくり、自分が都会からの観光客だったら、お客だったら、という視点で店作りを始めました。

現在、9人のスタッフが忙しく働く店内は、30人も入れればいっぱいになってしまいます。しかし、安さと家庭の味にひかれて県外からのお客も数多く訪れています。由緒ある剣神社を見物がてらに訪れる方も多くいます。

いろんなものが食べたいというお客の立場に立って、バイキング形式にした惣菜は、主婦であるスタッフが作りなれているもの。



■朝4時起きて料理をするのが大変なときもあると笑う林さん



■素敵な食器は織田の越前焼食は器からだという。



■改めて訪れると、そのよさに心洗われる剣神社。じんべえはお休み処、観光案内所としても活躍している。



■迷ってしまうほどの料理。買って帰ることも出来る。



■満席時には携帯に連絡を頼んで、近くを散策するのもOK

お客さんの美味しい一言が、スタッフの喜びにつながっているといいます。店を始めて驚いたことは、近所のお年寄りのニーズが高いことでした。地域貢献にも役立っていたのです。

「何も考えず一日一日を一生懸命」と林さんは言います。しかし、地域の宝を活かしたその姿勢は、私たちにも可能性を教えてくれているような気がします。まず、自分からはじめませんか。

手作り惣菜 丹生郡越前町織田 (剣神社前)
じんべえ TEL.0778-36-0303
 AM10:00~PM7:00 年中無休

編集・お問い合わせ この回覧板は、鯖江市との共働事業で発行しています。

特定非営利活動法人 **さばえNPOサポート**
 (さばえNPOセンター指定管理者)

〒916-0024 鯖江市長泉寺町1丁目9-20 鯖江市民活動交流センター内
TEL : 0778-54-7055 FAX : 0778-54-7058
 E-mail : info@sabae-npo.org



♥誰でも気軽に使える情報発信♥ ホームページ : <http://www.sabae-npo.org/>
 鯖江市内の市民団体ならばイベントやお知らせを掲載できます。

